

医療経済学

P-01-15-L

教員名

非常勤講師 田中 伸（滋慶医療科学大学大学院医療管理研究科 教授）

I 授業の目的

「医学ならびに医療技術の習得にとって経済学は必要ない」と考える学生が多い。本当にそうなのでしょうか。医師も、医療のありかたを「患者の立場」・「一国民の立場」で考えることが求められています。そのため、医療経済や医療財政に関するワンランク上の知識も必要であることを理解しましょう。

II 到達目標

1. 公共政策の1分野である医療政策の必要性について要点を説明できる。
2. 今日の医療問題について医師および消費者（患者）の双方の視点から要点を説明できる。
3. 日本の医療制度の歴史について要点を説明できる。
4. 医療経済学の学問的特質と有用性について要点を説明できる。
5. 医療政策に対する社会学・政治学・経営学的アプローチの特質を有用性について要点を説明できる。
6. 社会保障制度の国際比較研究の動向について理解し、それをもとに諸外国の医療制度の特徴について要点を説明できる。
7. 今日の医療を支える経済の状態を説明できる。
8. 日本の経済を支える企業の経営状態を説明できる。
9. 日本の医療機関の経営状態を財務の観点から説明できる。
10. （以上の理解を踏まえて）今日の医療問題の解決策について自説を主張できる

III 教育内容

1. 医療政策の諸問題
2. 日本の医療制度と社会保障制度
3. 医療政策と医療経済学
4. 医療政策と社会諸科学
5. 諸外国の医療政策と医療事情
6. 日本の医療政策の決定システム
7. 日本の医療政策をめぐる選択と対立
8. 医療機関の経営
9. 医療機関の財務と今後の経営問題

IV 学習および教育方法

講義を中心にテキストやレジュメを利用します

V 評価の方法

出席状況(30%)、受講態度(30%)、定期試験(40%)の点数により評価します。ただし、2/3以上の出席が無い場合は試験の受験は出来ません。

VI テキスト

別途指定する。

VII オフィスアワー

連絡先 事務室

実施場所 講義室

木曜日 講義後に時間をとります。講義合間に申し出てください。

卒業時 システム	1 基礎的資質				2 医師としての基本的資質				3 コミュニケーション能力				4 医学的知識								5 医学の実践								6 医学的(科学的)探究				7 社会貢献										
	問題解決型能力	情報技術	語学能力	社会人としての一般教養	倫理観	チーム医療	自己啓発	人間関係の構築	他者への思いやり	情報交換	細胞の構造と機能	人体の構造と機能	人体の発達、成長、加齢、死	疾病の機序と病態	検査・画像診断技術	基本的診察知識	疾病の診断・治療方法	ITの活用	生物統計・疫学	行動科学・医療経済	法令、研究倫理	患者尊厳	基本的臨床技能	臨床推論・検査所見・画像診断	診療録作成	治療選択	救急医療	緩和・終末期・看取りの医療	介護と在宅医療	患者説明	医療安全・感染予防	予防医学	副作用・薬害	和歌山県医療	保健制度	基礎医学研究	臨床医学研究	社会医学研究	研究成果の公表	研究倫理の実践	地域貢献	福祉活動	ボランティア活動
	C	E	F	C	D	E	D	C	D	C	F	F	F	F	F	F	E	F	D	E	D	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	E	F	F	F	F	F	F

講義日程表(医療経済学)

No.	月日	曜日	時限	項目	担当科	担当
1	R6.9.5	(木)	3	オリエンテーション		田中
2	R6.9.5	(木)	4	医療政策の諸問題		田中
3	R6.9.12	(木)	3	医療政策とマクロ経済①		田中
4	R6.9.12	(木)	4	医療政策とマクロ経済②		田中
5	R6.9.26	(木)	3	医療を取り巻く経済①		田中
6	R6.9.26	(木)	4	医療を取り巻く経済②		田中
7	R6.10.3	(木)	3	諸外国の医療事情と政策①		田中
8	R6.10.3	(木)	4	諸外国の医療事情と政策②		田中
9	R6.10.10	(木)	3	日本の診療報酬制度		田中
10	R6.10.10	(木)	4	日本の医療とシステム		田中
11	R6.10.17	(木)	3	企業の経営状態①		田中
12	R6.10.17	(木)	4	企業の経営状態②		田中
13	R6.10.24	(木)	3	医療機関の経営状態①		田中
14	R6.10.24	(木)	4	医療機関の経営状態②		田中